



2017 年 9 月 15 日

シンクタンク アジア GAP 総合研究所 主催

<GAP 普及大賞 2017>

JA 鹿児島県経済連が受賞！

**JA グループの連携による圧倒的なスケールでの GAP 普及
が評価されました。**

アジア GAP 総合研究所（理事長：（農）和郷園 木内博一）は、GAP 普及大賞選考委員会を開催し、JA 鹿児島県経済連の GAP 普及の優良事例を表彰することを決定しましたので、ご報告致します。

■GAP 普及大賞 受賞事例：

JA グループの連携による圧倒的なスケールでの GAP 普及

<受賞者>JA 鹿児島県経済連

JA 鹿児島県経済連は、JA や鹿児島県と連携し、JGAP と GLOBALG.A.P.の両方を合わせて 68 認証（延数 402 農場・68 茶工場・2,050ha）の取得を支援しました。他の取り組み事例と比較して、JA グループの連携による圧倒的なスケールでの GAP 普及の事例であり、JA グループのノウハウを活用した GAP 導入の進め方が高く評価されました。その結果として鹿児島県内の茶の栽培面積（8,520ha）のうち 24%が GAP 認証になっています。

今後は茶に限らず、同様の取り組みを穀物や青果物でも展開していく計画であり、輸出や東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給などにも対応していくことを検討しています。

この取り組みは 2009 年から始まり 2014 年から本格的になりました。JA 鹿児島県経済連・肥料農薬課の職員、JA の営農指導員、鹿児島県所属の普及指導員により、GAP 導入ノウハウを共有するための研修を行い、組織的な GAP 普及・指導体制を構築しました。こうした連携により、モデル手順書・モデル帳票を作成し、それらを各農場や各茶工場に合わせてカスタマイズしていくことで、効率的・効果的な GAP 普及を実現しました。更なる展開として、ASIAGAP 対応のモデル手順書も作成しています。

----- 認定 NPO 法人 アジア GAP 総合研究所 -----

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-29 日本農業研究所 4 階
TEL: 029-893-4424 / FAX:03-5215-1113

NEWS RELEASE

これら普及に向けた一連の取り組みに加え、GAP 管理点を活用した生産性向上の取り組みや、バイヤーサイドへの GAP 取り組みの説明も行い、生産現場の GAP 取り組みへの意欲向上にも配慮していることを高く評価いたしました。鹿児島県の茶業界における幅広い GAP 普及の結果、鹿児島県茶市場では「GAP 認証取得茶工場リスト」も掲示されています。

GAP 普及大賞は、最も GAP の普及に貢献した取り組み事例を表彰するものです。GAP 普及大賞 2017 の選考委員は次の通り。

岩元明久（日本農業普及学会 副会長）

伊與田竜（北海道網走農業改良普及センター 主任普及指導員（農業革新支援専門員））

田口光弘（国立研究開発法人農研機構 北海道農業研究センター 主任研究員）

以上の受賞事例につきまして、以下のシンポジウム内で表彰式と受賞者による記念講演が行われます。ぜひご来場ください。

■シンポジウム「GAP Japan 2017」

日時：2017年9月26日（火）13：00～17：30

場所：東京大学 弥生講堂（東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学農学部内）

関連ホームページ：http://jgap.jp/LB_06/GAP_Japan2017.html

問合せ先：岡田（おかだ） TEL 029-893-4424 FAX 029-893-4425 E-mail: info@asiagap.jp

（取材を希望される場合は、下記を記入の上、FAX または E-mail で送付ください。）

御社名 _____ 部署名 _____ 御名前 _____

住所 _____ 電話番号 _____